

平成25年度第1回学生・教員懇談会報告書

1. 期日：平成25年7月31日（水）16：30～17：30

2. 場所：大会議室

3. 出席者：

教職員 吉武副学長、原学部長、荒牧教務部長、増田厚生部長、村山学生部長、
有村事務長、的場学生課長、鬼塚学生職員、学生職員宮本 計9名

学生 昨年度第1回学生・教員懇談会出席者及び1、2年生の各2名 計11名

4. 司会：村山学生部長

1 全 般

司会の村山学生部長から本懇談会のテーマとして「平成24年度4月に実施された第1回学生・教員懇談会に呈示された意見に対する現状について」に沿って、学生に今回の出席をお願いし、教育環境及び学生生活環境の改善の資を得るとともに、学生・教職員間の意志の疎通を図る旨の説明がなされ、学生の自己紹介に併せて現状の感想や要望に対し、教員との意見交換が行われた。

2 概要 学生から呈示された意見や要望に対する大学からの一部の応答

～について	学生 発言者	学生 呈示意見・要望 ①は自己紹介時に呈示した意見	教員応答	備考
試験・授業 について	A君	①前回の要望が実現している。さらに取り組んで欲しい。 ②先生方から試験問題の作成に大変ご苦労されると聞く。客観的評価を受ける意味でも外注化してはどうか。	②試験問題に関連して、学生から問題の範囲や内容に色んな声を聞く。卒業試験問題にも疑問を持つ学生がいることも知っている。しかし根底に学	

試験・授業について	A君	③理解し易い授業にすることや授業の質をさらに上げる工夫をして欲しい。 ④臨床薬物動態学などは、実務実習で大変役立ったと思う。	生の努力がまだ足りないという思いがある。勿論、国試からかけ離れていてはいけないことは重要なこと。これからの模擬試験で真価を問いたい。 ③来年に向けてより良い授業になるように工夫していきたい。 ③講義の質の云々は学生の意見として受取るが、学年や学生個々の能力によってその価値判断は異り、一概に適・不適を言うことは慎まなければならない。教育内容についても、国試のための教育に対しては社会的批判が強いことを認識してほしい。これは、Bさんの意見にも言えることである。元来、大学とは学問を修める場であることを忘れてはならない。学生として一番大事なことは、緊張感を持って、自ら学ぶ姿勢である。	
	Bさん	①前回の要望が実現していると感じる。 ①-1 国試に沿ってない試験があったり、受けた講義の範囲外で試験問題が出されたりしている。	①-1 国試に沿っていないという点は、今後留意するが、基本的に国家試験の対策として試験を受	

施設・設備 について	Bさん	①-2 4年～6年は学内で遅くまで自習をする機会が多いので食堂にて夕食を対応して欲しい。 ② 昨年の4月時点と現状は学生の思いが違うのではないか。	けて欲しい。 ①-2 夕食の提供メニューは軽食ということで考えていいのか。 ①-2 昨年食堂に関してアンケート調査を実施した際、学生の要求度は低かったため実施していない。食堂ではレディースメニューなどの検討も行っていると聞いている。 ② アンケート調査を検討したい。	
試験・授業 について		③ 確認試験の再試験などの問題がシャッフルだったりする。受ける側としてこれに意味があるのかと感じる。	③ 仮に試験問題がシャッフルだったとしても、試験範囲から外れていたとしても、ミス無くし、確実に学力を上げていてもらいたい。国家試験合格のためにも集中して真摯に頑張って勉学に取り組んで欲しい。	

学習環境 及び施設 ・設備など について	C 君	①学生へのメールアドレス配布など実現していると思う。 ②新館のエレベータを2機動かして欲しい。 ③（A君の②に関連して）先生方のこれまで修得された知識の基にオリジナリティが感じられる講義を望んでいる。 ④新館4階にある製氷機は故障がちであるが、非常に実験にはいい氷を作る。もし機械を取り換えたり、修理される場合、留意願いたい。	③教員の得意分野や研究内容の講義は、大学院で行う話である。先のA君の意見に答えたように、本学は薬剤師養成に必要な学問を教授するところであり、C君が言う内容は大学の正規講義で取上げるべきものではない。ゼミや講演などで行うべきものである。	
	D 君	①今年度から6年間の教育方針が明確になってきたと思う。		
	E さん	①総合演習など講義数が多くて体調を崩す学生がいる。現状の時間割だと病院にもいけない。試験に必要な出席日数4/5や時間割が厳しすぎるのではないかな。	①出席必要日数の4/5から低い条件にしても学生の現状意識は変わらないのではないかな。25年度からのカリキュラムに学生が順応していない部分もあるのではないかな。国家試験を目指す受験生として、打ち勝って欲しい。とは言え、その状況の中で、印象として4年次生はよく頑張っていると見ている。時間割については検討したい。	

学習環境 について	Eさん	②ネットで学生自ら成績が見れるが、過去の「不可」などがあることで現状が非常に判りにくい。また、表示方法も年度ごと、期末ごとなど、ソートされた表示内容にするなど工夫をして欲しい。	②現在の状況が分かり易く表示できるように検討する。	
	Fさん	①中間試験が設けられたことで緊張感がある。 ②教務関連情報でパソコンへの連絡は早めにして欲しい。 ③（Bさん①・2に関連して）男子向けのメニューが多いと感じる。	①1年間通して考察する。 ②改めて、教務連絡はネットに挙げるのを1番に、掲示板の掲示を2番目に行うことを徹底する。	
	G君	①現在のカリキュラム、時間割について、詰め込み過ぎの感がある。	①4年生に上がった時に努力が実る。頑張って乗り越えて欲しい。ただし、1年間実施した上で、アンケートを実施考察したい。	

学習環境 について	Hさん	①試験の時間割で、空き時間がある。これは効果的なのか疑問である。 ②無理に出席日数を多くしても居眠りだけの出席になってしまうのではないか。	①各試験の一休みの時間もしくは次の試験勉強の時間に使ってもらいたいと思う。後期へ向けて検討の一つとする。	
	I 君	①授業 5 分前の着席を徹底して欲しい。他大学は実施しているところもある。	①ぜひ、本学でも徹底したい。	
	J さん	①初めての参加である。これから少し周囲のことに目を配り、気づいたことをこういう場で発言していきたい。 ②1 年次生には少し時間割に空き時間がある。上の学年の講義などを受講できればいいと思う。		
	K 君	①学生数が多く、3 人掛けの状態では一人分のスペースが狭い。特に 221 教室・216 教室。 ②学生共有ファイルを設けるなど、ネット環境を充実して欲しい。	①教室割で再検討し、できる限り対応したい。 ①対応したい。 ②現在ネット環境の充実を進めて行く方向にある。	

3 結 言

最後に、司会の村山学生部長から学生に向けて、SNSに関してLINEやFacebookなどを使用する際は他の利用者にも、ぜひマナーやモラルを守り、十分な配慮の上に使うように伝えて欲しいとのお願いがあった。本懇談会は、学生から忌憚りの無い意見が出され、大学としても即答できるものについては回答を行い終了した。

以上